

# 若手の「やってみたい」を自治会町内会が後押し！

## 防災フェア&池下フリマ

地域活動を応援

### 地域のわ通信

R8年4月  
NO.95

「公園でフリーマーケットをやってみたい」。

その一言をきっかけに、若手の“やってみたい”と自治会町内会の“支えたい”がつながり、地域の新しい取り組みが生まれました。

この春、大口池下公園で開催された「防災フェア&池下フリマ」。

若手のアイデアを自治会町内会が実現まで支えた取組をご紹介します。



写真：若い世代の参加が増えた「防災フェア&池下フリマ」



写真：山口彩花さん

提案したのは、地域づくり大学校（※以下、地域大）の山口彩花さん

2025年度 第1回  
**防災フェア&池下フリマ**

3月20日  
場所 池下公園  
時間 10:00-15:00

資料：【ちらし】池下フリマ

山口さんの思いを受け止めたのが大口仲町池下町会(以下、町会)でした。町会は防災フェアと同時に開催することで若手を後押ししました。

山口さん：「ご近所さんの顔が見え、町会の活動を知るきっかけにもなる、そんな活動をつくりたかったんです。そんな中で、同じ町会のスポーツ推進委員の伊藤さんから『フリーマーケットやりたいね』と言われ、負担も少なく誰でも参加しやすいこの企画なら、地域に馴染みが薄い人にも来てもらえるのではと思いました。」

(\*) 神奈川県地域づくり大学校  
地域の新たなつながりを創り出し、実現したい活動をかたちにしていく連続講座。

## 防災フェア&フリーマーケットが動きだすまで



① 山口さんは、町会の推薦で地域大を受講。



② 卒業時に、アクションプラン「池下公園でフリーマーケット」を発表



③ 町会の石渡会長（写真）が率先して山口さんの活動を応援。山口さんから、地域大卒業とアクションプランを町会の定例会で報告してもらう。

石渡会長：  
若い人が新しい発想で地域に関わってくることが、町会にとって大きな力になります。今回のフリーマーケットは、若い世代が町会に目を向ける良いきっかけになりました。



⑤ 防災フェアと同時開催でフリーマーケットを実施

- ・自治会町内会から出店者を募集（出店料無料）。10ブース出店。役員、子ども会も協力。
- ・フリマの来場者が防災フェアにも自然に立ち寄れる構成
- ・これまで防災フェアは人が集まらないのが課題。今回の同時開催で、子育て世代・若い世代の参加が増加



④ 防災フェアの同時開催で町会がアクションプランの実現を後押し

伊藤さん（スポーツ推進委員）：  
フリマは誰でも参加でき、地域のつながりが生まれやすい。いずれは大口七島地区全体でフリマができれば…と夢が広がります。

岩並さん（安心・支援部会ICT担当）：  
これまで防災イベントはシニアの参加が中心でしたが、今回は子育て世代の親子が明らかに増えました。

## デジタルは若手支援の“下支え”になる



山口さん：  
現役世代の町会活動は、すき間時間を活用しているのでスピード感が大事です。「結ネット」でやり取りができたことは、フリマ企画の助けになりました。

大口仲町池下町会では、自治会町内会アプリ「結ネット」を積極的に活用し、防災や地域情報の発信に役立てています。デジタル活用は若手の活動をスムーズにし、自治会町内会の負担も軽くする手段として機能しています。

防災フェア&池下フリマでは以下をデジタル活用！

- フリマの出店募集(掲示板も使用)
- フリマの担当者間の連絡調整
- 防災フェアで安否確認訓練

ChikiryoKu Up!